

JSCASUPベーシック 報告書

■報告日 2018年11月26日（月）

■報告者 中村昭彦

■実施日 2018年11月26日（月）

■実施会場 （技術）玄海青年の家 頓田貯水池

■主管 一滴 Paddle & Mountain Guide

■担当トレーナー/担当講師

中村昭彦（一滴 Paddle & Mountain Guide）

■受験生 2名（福岡県2名）

合格予定者2名

■開催の経緯

昨年のSUPベーシックの検定会で単位を取得できなかった方がおり、その方からのご希望で限定的な検定会を開催しました。

■漕艇技術

両名ともに公認スクールに所属し、カヤックのインストラクター/ガイド1を取得していました。また1名は事前講習会を6月に受けており、対策も十分だったので、大きな問題なく検定を終えることができた。また、その方は10月後半に肋骨を骨折し、今回の参加が危ぶまれましたが、本人と医師の判断により参加に踏み切りましたが、そこをかばって漕いでいたこともあり、若干小さな動きになってしまったことが残念だった。もう1名は比較的最近SUPを始めたとのことでしたが、持ち前の運動能力と思いきりで、荒削りながら積極的なボート操作が目立ちました。



■指導法&フィードバック

既にPro活動をしている方が対象だったので、指導の仕方に関しては全く問題ありませんでした。ただし、SUPの経験値がまだ低いので、それに関する説明が甘かったり、逆に言い過ぎてしまったところを感じられました。シンプルに伝えることの重要性を、その後のフィードバックでも伝えました。

■漕艇技術のフィードバック

受験生が少なかったため、それぞれの今後の課題と共通してもっと意識したほうが良いポイントを伝えられたことはよかったです。カヤックとの違いによる、意識の違いを表現できればよりよいボート操作が可能になると思います。また、最近SUPを始めた方は、この時間だけでもメキメキと上達し、今後が楽しみです。

■安全講習

嫌なシチュエーションをいくつか考えてもらい、それを実際にやってみました。発想が豊かで色々なバリエーションを知ることができたことは、非常に有効でした。



■総括

受験者が2名と少なくこじんまりとした検定でしたが、非常に内容の濃い時間を過ごすことができました。フィードバックの時間を多くとり、できる限り持ち帰れる材料を多くしてもらうことができました。また、新たにできたSUPインストラクター/ガイド1が次なる目標になったようで、今後繋がる動きになると思われます。